

<p>書名</p>	<h1 style="margin: 0;">図画工作</h1> <div style="text-align: right; margin-top: 10px;"> 9 開隆堂 </div>	
<p>項目</p>	<p>教育基本法、学校教育法の下、小学校学習指導要領の教科の目標とのかかわり</p>	
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">特色</p>	<p style="text-align: center;">内 容</p>	<p><基礎的・基本的な知識・技能を習得する工夫> ○各題材のページに必要な材料や用具の扱い方を示し、さらに巻末の『道具箱』『パレットコーナー』により基礎・基本の知識・技能が学べる工夫がある。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成する工夫> ○造形的な課題を追究解決するために必要な選択・発見・判断・決定する力を子どもの中に育てている課題が示されている。また写真などにより、納得するまで試行錯誤しながら製作する様子が示されている。(例 1.2 年下つづきえ どんどん)</p> <p><主体的に学習に取り組む態度を養う工夫> ○「やってみよう」と感じる、既習事項を生かせる題材の配列になっている。 ○知識や技能の習得ばかりが中心にならないよう、造形表現活動の楽しさや用具・材料の可能性を十分に楽しむ題材が配置されている。</p> <p><表現及び鑑賞の活動を通して、感性を働かせながら、つくりだす喜びを味わう工夫> ○様々な感覚（聴覚・触覚など）を使って感じ取り、色や形を活用し、豊かに表現できる題材が工夫されている。(例 3.4 年上こんにちは、ふわふわさん) ○友人との会話を通して見方や感じ方を豊かにする様子を紹介している。</p> <p><造形的な創造活動の基礎的な能力を養い、豊かな情操を養うための工夫> ○各題材に大きさ、長さ、量、質の異なる豊富な身近材が紹介され、素材との会話により表したいことを創造する可能性を広げることができる。 ○題材ごとに4観点の「ふりかえり」が示され、児童が自身に付いた力を観点別に確認できるとともに、本題材で学習した成果を実感することができる。</p>
	<p style="text-align: center;">資 料</p>	<p>○A 4判の大きな誌面で見やすく資料が配置されている。発達段階に合わせた発想や工夫の具体例が示されている。 ○色別の囲みにより、補充または発展的な学習ができる工夫がある。 ○各巻に『小さな美術館』のページがあり、さまざまな作品の鑑賞ができる。また、作者の気持ちを想像するなど、鑑賞の手立てを学ぶ仕組みがある。</p>
	<p style="text-align: center;">表記・表現</p>	<p>○題材ごとに始めに目標が、最後に振り返りがあり、学習のねらいと成果の確認ができる。また、同じ題材に対する表現の対比など多様性を学ぶことができる。 ○色覚に多様性のある子供たちに配慮した、カラーユニバーサルデザインを採用している。安全面やかたづけなど、配慮すべき点もマーク等でわかりやすい。</p>
<p style="text-align: center;">総 括</p>	<p>○題材の系統性があり、既習事項を生かすことができる配列である。 ○身近で多種多様な材料、多くの表現方法の紹介、巻末の『道具箱』『パレットコーナー』により造形的な創造活動の基礎的な能力を培うとともに、児童が自主的・主体的に課題を追究し、学習を発展させることができる。 ○『ふりかえってみよう』『ふりかえって、はなしあおう』のコーナーにより図画工作における言語活動の充実を図ることができる。また児童自身が、学習を通して何が身に付いたかを自覚する手立てとすることができる。</p>	

<p>書名</p> <p>項目</p>	<p>図画工作</p> <p style="text-align: right;">116 日 文</p>
<p>教育基本法、学校教育法の下、小学校学習指導要領の教科の目標とのかかわり</p>	<p>○①豊かな情操を養う教材②言語活動の充実③共同して作り出す教材④自然に親しみ、よさを体感する活動⑤伝統的な文化遺産を味わう活動がバランスよく配列され、教科の目標にせまっている。また〔共通事項〕が全体的に意識されている。</p> <p>○表現活動に関する内容については幼・小また小・中と連携して取り組む学習が展開できる工夫がある。</p>
<p>特 色</p> <p>内 容</p> <p>資 料</p> <p>表記・表現</p>	<p>＜基礎的・基本的な知識・技能を習得する工夫＞</p> <p>○題材名の近くに4観点が示され、学ぶ目的が明確に示されている。</p> <p>○「形、色、イメージ」の〔共通事項〕がキャラクターによって繰り返し登場し、表現及び鑑賞にあたり、〔共通事項〕を常に意識させる仕掛けがある。</p> <p>＜思考力、判断力、表現力等を育成する工夫＞</p> <p>○キャラクターの吹き出しにより、工夫や見方のヒントが示され、発展的な学習ができる。</p> <p>○構成や構図、描画材料に工夫があり、「どうやって製作したのだろう」と児童が関心をもち、目標やめあてをもって学習に取り組める作例が掲載されている。</p> <p>＜主体的に学習に取り組む態度を養う工夫＞</p> <p>○製作方法に迷ったり、用具の効果的な使用方法を探したりしているときに必要な子供たちの活動を支えるヒントや情報が数多く掲載されている。</p> <p>○見開きで紹介されている題材と、活動する子供たちの多数の写真により、「楽しそう」「やってみたい」と期待させる題材の提供が見られる。</p> <p>＜表現及び鑑賞の活動を通して、感性を働かせながら、つくりだす喜びを味わう工夫＞</p> <p>○『教科書美術館』をはじめとする巻頭・巻末ページに表現する喜びや楽しさが感じられる工夫がある。特に表情豊かな子供の写真など、身近なところに造形活動があることを感じ取れる子供が主役の資料が豊かである。</p> <p>＜造形的な創造活動の基礎的な能力を養い、豊かな情操を養うための工夫＞</p> <p>○児童の作例に作者の言葉が囲みを使って表され、作品に込められた作者の思いを知り、自分の表現したいことを言葉で確認することを学ぶことができ、言語活動の充実を図ることができる。</p> <p>○子供の活動写真、特に考える・工夫する・製作するなどの姿が掲載され、課題を追究し製作する過程がわかりやすい。</p> <p>○すべて題材が見開きで示され、見やすく、意欲を喚起する。</p> <p>○キャラクターが製作するときの工夫や発想のヒント、鑑賞するときの視点を示している。また裏表紙にも基礎的な知識・技能が身につけられるコメントがある。</p> <p>○ユニバーサルデザインの視点でつくられ、授業で使用する主な道具、学習の目当てなどが色別やマークで定位置にわかりやすく表示されている。</p> <p>○『きをつけよう』『かたづけ』など安全と環境に配慮した活動のポイントが簡潔に表記されている。</p>
<p>総 括</p>	<p>○巻末『使ってみよう材料と用具』が充実し、技法や知識が豊富に紹介されている。また同じく巻末の『ぞうけいのもり』に動物や植物など製作の参考になる資料が豊富にあり、課題の追究にあたり発想・製作などさまざまな段階や場面でヒントが得られる構成になっている。身近な材料の小品から大作まで多様な作例と製作風景が紹介され、意欲を喚起する内容である。</p>

